

各地の自然災害で被災された方々、新型コロナウイルスに感染された方々に、心からお見舞い申し上げます。
神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

参加無料

10/31 (日) 3:00pm 工藤篤子賛美コンサート vol.12 無観客ライブ配信



工藤篤子 (地中海ソプラノ)

札幌大谷短期大学音楽科卒業、同短大音楽専攻科及び研究科修了。1983年マドリード国立音楽院に留学。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして、またスペイン歌曲のスペシャリストとして、ヨーロッパ各地の国際フェスティバルに招かれる。2000年「工藤篤子音楽ミニストリーズ」設立、2011年「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」に改称。カーネギー・ホールでの伝道リサイタルを始め、世界の各地で賛美を通して、救いの福音を伝えている。現在は、大阪の事務局を拠点に、賛美伝道活動を継続している。



野田常喜 (ピアノ)

京都出身。大阪音楽大学ピアノ科卒業。現在、クラシックやゴスペルの演奏活動を日本各地で行っている。作曲、編曲、アルバム制作にも力を入れている。オーケストラを思わせるピアノリズムと、その場の臨場感に合わせ、共演者と対話するような演奏法は、多くの感動と共感を生んでいる。

ライブ配信は教会ホームページから
ご覧いただけます。http://www.takara-eikou.com

秋西が飛び交い 風も日差しも さわやかな秋です



教会の春・夏・秋・冬・・・宗教改革記念日

10月31日は、宗教改革記念日です。1517年のこの日、ドイツの修士マルティン・ルターはヴィッテンベルク城教会の扉に「95ヶ条の論題」を貼り出しました。これがきっかけとなって、宗教改革が起こり、プロテスタントと呼ばれる流れが始まりました。

ルターが強調したのは、信仰でした。彼は、キリストを信じる者は、信仰によって生きるべきだ、と唱えました。彼の姿勢は、現代まで脈々と流れています。

“信仰義認”(信仰によって、人は神の前に正しい者とされること)の教理は、キリスト教の柱です。聖書にはこうあります、「福音には神の義が啓示されていて、信仰に始まり信仰に進ませるからです。『義人は信仰によって生きる』と書いてあるとおり

です」(ローマ人への手紙1章17節)。神は、私たちの善い行いや立派な行いではなく、キリストを信じる心に目を留め、平安と希望に溢れた豊かな祝福へと導いてくださいます。

キリストを信じる者は誰でも、神の救いに与ることができます。信じることはむずかしいことではありません。どんな人にもできます。どんなことをしているのか、どんな状況にあるのか、どんな立場にいるのかではなく、キリストを信じるかどうかが大切なのです。

宗教改革記念日に、私たちはこの真実を改めて確認し、神に感謝することができます。



主にゆだねよ

「成せば成る 成さねば成らぬ何事も 成らぬは人の 成さぬなりけり」という言葉をご存じの方は多いでしょう。この名言は、江戸時代の米沢藩主、上杉鷹山(ようざん)が家臣に対して詠んだ歌です。「やればできる。何事もやらなければ成功しない」という意味です。

人生は自分で切り開いていくものだ、と考えている人が多いと思います。一面、それは真理です。人まかせであってははいけません。しかし、自分の力ではどうすることもできないことがあります。どんなに頭をひねっても、人に相談をしても、本を読みあさっても、どうしても固く閉じた扉が開かない、ということがあります。

聖書にこういう言葉があります。「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」(詩篇37篇5節)

私たちの人生は、自分で計画し、自分で操っているようでも、実は、神様の御手の中にあります。天地を創造されたまことの神様は、私たち人間を、ご自分のかたちに創造さ

れました。私たちは、神のかたちに創造されているのです。それは、私たちが、神様との自由で豊かな交わりの中に生かされている、ということの意味をしています。私たちが、私たちが神様の語りかけに応答し、神様が私たちの祈りに応えてくださるといふ、親密な交わりの中に生きる者とされているのです。

それは、観念的なことではなく、実際の、具体的なことです。私たちが、まことの神様に背を向けていたという罪を悔い改め、イエス・キリストが十字架にかかれたのは、この私の罪のためだったと信じるなら、私たちは罪と滅びから救われます。そこから、神様との交わりの中に生きる生き方が始まっていきます。

そして、そのような生き方があることがわかれば、造り主なる神様にゆだね、信頼していくことができます。神様にゆだねてしまうと、今まで固く閉ざされていた扉が、音を立てて開いていきます。あなたも、神様に全部おまかせする歩みを始められませんか。道は必ず開かれます。

教会のひとこま ぶどうの木

今年は梅雨が長く続き、雷や台風など、また蒸し暑さは格別でした。厳しい天候の中、ぶどうは頑張っ、実を結んでくれました。(私たちの声援に応じてくれたようです。)房を数えると、30房ありました。ぶどうの木に、ありがとう!と感謝の言葉をかけながら収穫する日も間近です。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30~10:30

第二部 11:00~12:00



教会HP



礼拝動画

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



「どんぐり」

10月にもなると 秋はいつそう美しく 姿をあらわしてきた
抜けるような 透明な昼間 乾いて気持ちのいい空気は
足を軽やかに 運んでくれた
そして 一本の背の高い コナラの木の前に 連れていった

何メートルも 枝を張った 大きな木を見上げていると…
なんと可愛い どんぐりのぼうや達
こちらを見ている 目と目が合ったように感じた
そうか 黄色く色づいている どんぐり達は
間もなく 旅立ちの時期を 知らせているのだろうか
足元に目をやると 重なり合った 落葉のすき間から
先に落ちた どんぐりが見えた

素朴に どんぐりころころと 歌った記憶
どんぐりで 楽しく遊んだ記憶
なつかしさ ひとしおの いとおしいどんぐりだが
実は 秋から冬にかけて 森の動物にとっては
どんぐりは 大切な栄養源なのだ
動物の生存に 大きな影響をもたらす どんぐりでもあったのだ
自然のいとなみの すばらしさに 驚いている

すばると オリオンを造り
闇を朝に変え 昼を暗い夜にし
海の水を呼び集めて 地の面に注がれる方
その御名は主

アモス5章(聖書)